

◆企画名	ほっこり相談室
日程	2017年4月～2018年3月（土日、祝日、休暇中は除く） 開室時間は週2日の昼休み（曜日は毎月変動）
場所	総合学生会館凜風館1階 サポートーズルーム
参加者数	8名（ピア・サポーター6名、研修生2名）
目的	

大学という環境に上手になじむことができず、大学を自分の居場所とすることに困難を抱えている学生が抱えている「大学内に安心できる居場所がない」「誰かに話を聴いてほしい」という様なニーズに応えるため、より身近な立場で話を聴くことが目的であった。

内 容

本事業では、同じ関西大学の学生が相談員を務める「ほっこり相談室」を開室し、全4回のKUサポートーズ自主トレーニングを受けたメンバーが相談員として対応した。また、開室には2人以上の相談員の確保を必須とし、1回の相談時間は最大60分とした。

効 果

さまざまな相談内容を想定した自主トレーニングの効果もあり、利用者のニーズに応えることができたと思われる。「安心できる居場所の提供」や「話を聴く」という目的の事業であったが、利用者にとっては、ほっこり相談室で過ごす時間がより良い大学生活への一歩となったのではないかな。

改 善 点

本年度の利用はのべ5件と少なかった。原因としては、近年の学生のニーズが少しずつ変化していったことが挙げられるだろう。コミュニティ内での議論を踏まえ、当コミュニティは活動主体を変えて、今後運営していく方針である。

感 想

本事業は、KUサポートーズの軸となる活動として7年に渡り継続してきた。また、KUサポートーズの内部事情や時代の変化に伴い、メンバーや利用者にとってより良い事業とするためにマイナーチェンジを繰り返してきたが、「ほっこり相談室」事業は一時休止することにした。今後、「ほっこり相談室」の需要を見受けられるようになり、諸事情で再開する方向になったりした際のために、バックアップ体制を整える所存である。